

たんちよう

No. 124
12月号

HSK

編集／釧路地方腎友会



【目次】

道腎協ブロック会議報告	1・2
定例会合・講演会報告	3
全腎協参加集約アンケート	4
全腎協総会第1回実行委員会について	5
「好意・湿原・感謝・ふれあいの旅」	横沢 文子 — 6・7
「温根湯への旅」	久島 梨恵子 — 7
「思うままに」	工藤 信博 — 8
道東6地区交流会報告	9
「おいしい店」	金井 英雄 — 9
クロスワードクイズ	10
「会員の動向」新会員・新患者	11・12

平成三年度第二回

道腎協ブロック

△会議報告

平成三年度第二回ブロック会議が、十一月九日(土曜日)午後四時から、北農健保会館で開催され、釧路から佐藤信洋副会長と橋本巖事務局長が参加してまいりましたのでその内容について報告いたします。

津田喜郎道腎協副会長の開会の挨拶のあと、黙祷を捧げ、さっそく議事に入りました。最初は報告事項が進められました。(1)全腎協第六十一回幹事会報告(要旨のみ略述)

佐藤(利)全腎協幹事より
・油井全腎協会会長挨拶
・各都道府県ブロック報告
そのなかで、十月一日山形県で腎パンクができた(三十七番目)こと、長崎県腎協からカンパに対するお礼がなされたことなどが出されました。
・厚生省交渉の報告のなかでは、透析患者の障害年金等級を、現行の3級から2級に引き上げることなどを要望したことが述べられました

・討議事項のなかでは、全腎協総会北海道大会の参加希望者が予定をはるかに越えたため、人数調整が必要なこと、宮崎県透析拒否問題では人権無視であることはまめがれないことなどが確認された。

(2)ブロック活動報告(略)

(3)道腎協前期活動報告

・雲仙普賢岳のカンパ道分の合計額が、六十五万九百五十三円集まったそうです。さっそく長崎県腎協に送金したとのこと。

・街頭キャンペーンでは、各報道機関で報道され、ライオンズクラブ、行政、医師会などの応援を得て行われた。その中では、各地の健康祭りなどで登録してくれる人が多かった。

(4)前期会計報告・監査報告(略)

(5)討議事項

・障害年金をめぐる状況と技術上の問題点については、人工透析療法施行中の患者は3級と認定するが、臨床症状及び検査成績により更に上位等級に認定されることとした。
また、初診日(腎臓病が発見された日)に年金に加入していたか、年金を納めた期間なども影響するとのことでした。

・要介護透析患者対応等について
透析患者十万人の平均年令は五十四・五三才と年々上昇しています。そこでこれからますます介護を必要とする透析患者が増えてくることは間違いありません。そこで、この問題についての実態調査を実施し、まとめたものを報告しました。

このなかでは、介護している人が高齢になっていること、糖尿病性腎症の導入患者が増えているということでした。今後、この調査結果を踏まえ、透析患者のリハビリテーションの推進、在宅福祉の保障、生活施設・中間施設の整備、医療費生活費の確保など当面する問題を陳情、要請していくこととした。

(6)第二十二回全腎協総会道大会について
十月十七日現在、全国からの参加予定者は会員家族を含めて六百人を越えています。そのうち、透析希望者が四百近くもいるためその対応に苦慮しているのが現状です。

一方、釧路からは橋本事務局長が実行委員として参加することになっています。また、当日は、釧路から来賓接待一名、案内係四名出すことになっています。

(7)その他として、道難病センターケア住宅別館建設運動の取り組みについての

問題では、この問題に賛同する署名、建設募金のお願ひなどについて出されました。

募金は、一口一万円で一億円が目標。もし、五年以内に実現しなければ、募金者に返金するというものです。

こうして、鈴木道賢協副会長の閉会の挨拶でブロック会議を終了しました。

次の日は、九時半から札幌の北成病院医療ソーシャルワーカーの大聖由利子さんを迎えて研修会が行われました。

医療ソーシャルワーカー(MSW)とは、患者さんが入院するときに医療費や生活についての心配ことがあるときに相談のつてくれる人のことです。

また、身体障害者手帳や各種福祉制度のことも教えてくれます。

この日の研修会では、社会福祉8法改正のポイントという内容でお話してくれました。

改正の要点は、在宅福祉サービスの積極的推進、在宅福祉サービスの位置づけの明確化、在宅福祉サービスの支援体制の強化、市町村及び都道府県老人保険福祉計画の策定、障害者関係施設の範囲の拡大など。

この改定で特にいえることは、入院している寝たきり老人を減らし、家庭に責任を持たせようとしていることです。

現在、ホームヘルパーやデイサービスで人手が足りない現状のなか、推進していくことは簡単とは思われません。

また、きめ細かい在宅福祉事業をするためには、都道府県及び市町村に負担がかかってくることは明らかです。

在宅福祉事業等の振興をはかるために七百億円の基金を設置したというのですが、はたして足りるのかどうか疑問です。

以上のような内容について学習して、十一時半頃終わりました。

※なお、詳しい内容についてお聞きになりたい人は事務局まで連絡ください。資料をお見せいたします。



お し ら せ

腎友会のパンフレットができました。内容は、釧路地方腎友会結成に始まり腎友会の活動内容、受けられる福祉の恩典、腎友会への加入のおすすめなどとなっています。竹内会長が、分かりやすくまとめてくれました。

さっそく会員に一部つつ配布したいと思います。有効に活用ください。

特に、新しい患者さんが出たらあげたいので、各病院の幹事さんは事務局へ連絡を！！



定例会合

講演会報告

平成三年度の定例会合・講演会が、先日の十一月十七日(日曜日)十一時から身体障害者福祉センターで開催されました。会合に先立ち、この半年の間に亡くなられた方たちに黙祷を捧げました。

次に、十年を迎えた会員十人に対し、賞状と記念品が贈られました。

十年表彰者は次の通り

- ・村山よしの (市立病院)
- ・対馬美喜子 (林田クリニック)
- ・斎藤 四郎 (林田クリニック)
- ・本間 考司 (林田クリニック)
- ・三原 義春 (林田クリニック)
- ・佐藤 俊幸 (釧路泌尿科クリ)
- ・波佐合純孝 (厚岸町立病院)
- ・田中 清悦 (厚岸町立病院)
- ・橋本 巖 (林田クリニック)
- ・藤原 修二 (釧路泌尿器科クリ)

表彰のあと、竹内昇会長が会員に対しねぎらいの挨拶をしました。

そうして、忙しい中を伊藤武一顧問が見えられて挨拶をされました。伊藤顧問はその挨拶のなかで、道議会の代表質問で腎移植連絡協議会の設置問題を質問し、

実現する旨の回答を引き出したことを報告されました。また、来年の参議院選挙のあたりには伊藤顧問の応援する「風間ひさし」さんをよろしくとの要請もされていきました。

その挨拶を受けて、市立病院の佐藤信洋さんが「応援してくれる人は私が代表になって進めますのでよろしく」と話されました。この問題は、有志が進めることを確認しました。

次に、事務局から一泊旅行の補助金の問題について提案しました。

「ある会員から、旅行出発直前になって具合が悪くなったときは、会がキャンセル料を見てくれてもいいのではないかとこの質問が出され、過日役員会で話し合った結果、今回は一般通念通り、キャンセル料をいただく事としたい。」という提案に対し、今回は仕方ないが、今後、用事で来れなくなった人と、具合が悪くなった人とは別に考えてほしいという意見が出され、役員会で検討して次回の総会に提案することになりました。

その後、全国大会北海道大会の参加についての中間報告をしました。

また、機関誌「たんちよう」に広告を載せたいという一般市民の方がいるが、どうするかという提案に対し、広告料は若干でいいから載せてあげてもいいという事で承認されました。

こうして、会合が終わり昼食休憩となり

りました。

午後一時から、窪田理裕先生の講演が始まり、熱気のこもった二時間となりました。

この講演には、遠く網走地方腎友会から原田会長をはじめ、六名の方が来てくれました。また、一般市民の方も数名参加していました。

講演の内容は次のとおりです

- ・腎の解剖と整理・保存期腎不全の対策
- ・末期腎不全の対策・最近の血液透析の動向・市立病院での内シャント手術
- ・透析の原理・CAPD、APD
- ・エリスロポエチン
- ・長期透析の合併症(骨アミロイド症、AI骨症、副甲状腺機能亢進症)
- ・腎癌

このように、腎臓病の初期から末期に至るまでの症状や治療法をスライドを中心に細かく話してくださいました。

参加した一般の方、会員の方たちにとつてたいへん参考になるお話ではなかったでしょうか。

先生は、最後のほうで、自分の体のことをよく知って常に気をつけていることが大切と話しておられました。自分の飲んでる薬一つの名前でもしっかり覚えておくことが大切だということでした。こうして全日程が終了いたしました。参加された皆さん本当にお疲れさまでした。

全腎協総会北海道大会参加アンケート結果集約

釧路地方腎友会

アンケート165のうち、集約数35（回収率21%）

質問1：参加したい人（17名）、参加しない（10名）
まだわからない（8名）

質問2：家族は何人くらい（7名）

質問3：交通手段は

- A. 往復汽車で（9名）
- B. 往復バスで（1名）
- C. 往復飛行機で（4名）
- D. 行きは汽車で帰りは飛行機で（7名）

質問4：行くときは

- 各自現地集合現地解散（2名）
- ある程度まとまって（20名）

以上のように回収率は低かったのですがある程度の傾向が出たと思います。この結果を参考にして、参加希望者募集をすすめていきたいと思えます。ご協力ありがとうございました。

全腎協第22回総会

北海道大会参加最終集約について

来年の5月23日・24日の大会に参加する人数の確実なものを道腎協に報告しなければならなくなってきましたので、近々最終集約の事務連絡を発行いたしますのでご協力よろしく願いいたします。

おそらく全国大会が北海道で行われるのは初めてで最後ではないかと思えます？ ですから、釧路の会員の皆さん是非参加してくださいね。

家族の方もよろしく願いいたします。

第一回

実行委員会

先の十一月二十四日（日）に、札幌教育文化会館において第一回の実行委員会が実施されました。

釧路からは上田弘道腎協副会長、橋本巖事務局長が実行委員として参加いたしました。

この会議には東京から油井清治全腎協会会長をはじめ、小林孟史全腎協事務局長など四名の方がみえておられました。

会議では、岩崎道腎協会長の挨拶に続き、油井会長が北海道大会が成功することを念願する旨の挨拶をされました。

その後、一人一人自己紹介をしました。会議は、全腎協から来た栗原運営委員が大会の概要を説明する形で進行しました。そのなかで、一番問題になったのは札幌に着いてから現地にどうやって行くかということでした。道内各ブロックが独自に足を確保するべきか、それとも道腎協がバスをチャーターするかという点で話しが出され、今後、詰めていくことが確認されました。また、総会の会場になる教育文化会館の駐車場はせまいのであるべくマイカーでは来ないようというところが話されました。

この第一回実行委員会では大会の概要説明が中心でした。細かいところは、次回の実行委員会（平成4年3月）で話し合うことになりました。

ただ、道内各ブロックの参加者数を確保なものにしたいので、早急に参加人数を固めてほしいと要請されましたので、近々、釧路でも集約をしますのでよろしくお願いいたします。



Elia Court



(株)回生ワレコ スクワラン化粧品



宝スクワラン 300 66ml 5,800円



110g 1,500円



文庫 5,800円(2本)

身体の中から美しくなりたい方は

スクワレンは生命力のある深海サメのエキスです。身体の中からフレッシュUP

お飲み下さい。



スクワレン100 5,800円

女性なら誰でも気になるシミ、30代女性の80%がシミの保有者で、その数は戦後40倍にも増えた。その最大の原因は香料、色素、防腐剤などを使った化粧品で、添加物が女性の肌の害となっている。日宝のスクワラン化粧品は天然100%で様々なタイプにしみ、血行を良くし肌の浄化作用の促進や皮膚の老廃物を取り除く等、シミ黒ずみ、小ジワ等のトラブルには特に有効です。このすぐれた天然スクワランの効果で忘れていた素肌美をとりもどす事ができます。

お気軽にお電話下さい。

スクワラン 厚岸

☎(0153)52-6918(代)

〒088-11 厚岸郡厚岸町住の江11番地

好意・湿原・感謝

ふれあいの一日

釧路泌尿器科クリニック

横沢 文字

(横沢道彦さんの奥さんです)

釧路湿原、釧路湿原と全国各地から観光客が訪れています。長年釧路に住んでいる私が遅ればせながら、先日湿原駅からその周辺の湿原一帯を見てきたので、その時のことを書いてみました。

湿原を見に行こうというきっかけは、息子を通して城山小学校三年一組・三組の親子レクレーションで湿原駅まで汽車に乗って行き、楽しい一日を過ごすという企画があったからです。

「お父さんも行こう」と息子が強く誘うので、思い切って参加を決めました。なにせ、主人は車椅子がなければどこにも出かけられないので、クラス役員さんは駅への問い合わせや、駅の回りの様子を調べたりしてくれました。

ところが、色々話を聞いてみると、砂利道や坂道などで車椅子の移動は大変な様子。でも、他の父親の参加や男の先生もいるので、車椅子を持ったり押ししたり時にはおぶったりして行けそうだとこのことでした。

そんなことを聞いているうちに、主人も私もオジケテしまいました。「なんとか汽車に乗っても大変だなあ。車で行くのじゃなく、息子と汽車に乗りたいたいなあ。」などといういろいろ考えているうちに、欠席しますと返事をしていました。



息子には、「道が悪いのでお父さんは行けないから、お母さんと参加しよう。」と納得させようとしたが、息子はプツプツ不満の様子。

ところが二三日のち、下見に行ってくれた役員さんから電話があり、「担任の先生とも話したんだけどお父さんをなんとか連れて行ってあげたいのです。車で参加する人もいますから、湿原駅から車で展望台へ登ってもいいし、おぶってくれる人もいます。……しつこくごめんね。」といってくれたのです。

この電話のやりとりは四度目だったかな。話しているうちに、なんだかとても嬉しくって涙があふれてしまいました。

そんなこんなで参加が決定。一度雨で予定がずれ、十月二十日(日曜日)いよいよ湿原へと。

自家用車で釧路駅へ向かいました。十一時八分発の汽車に乗るために改札を通ると、駅員一人と男の先生二人で、車椅子ごと持ち上げてもらい、階段を降りる降ります。そして、三番ホームへ。

そして、今度は階段をのぼる。汽車に乗るときには、みんなが乗ってから最後にゆっくりと。その時も、また持ち上げてもらいながら乗り込みました。あつという間の汽車の旅(十八分)。

そして、湿原駅へ到着。運転士さんは息子のクラスメイトのお父さん。降りるとき、わざわざ来てくれておろしてくれました。駅舎から地面までまた階段。

そして、砂利道、坂道を三人で押す。十分歩いてから、車で参加の方がいたので車に乗り移る。

皆が歩く中、私達はゆっくりと車で。歩くと十五分ほどかかるかなという坂道の右手に見えてきた展望台。

「わーっ。」と思わず声が出てしまいました。皆に押ししてもらいながら展望台へ行きました。そこから見えたものは、蛇行した釧路川。もう枯葉色の湿地帯。遠くには十條製紙の煙りが見えて。空は青いし、空気はおいしいし。

子供たちがクラスごとに写真を撮るパチリ。

すると、「ほら横沢さん、なかなか来られないから写真とってあげるよ。親子三人並びなさい。」の声。たくさんのお母さんが見つめる中、私達親子三人は、照れながらのポーズ。

その後、駐車場で食事。「ちょっと寒いね。」といいながらも美味しく食べました。二時半頃湿原を出発。三時過ぎには帰宅することができました。

とにかく、美味しい空気、青空、晩秋のかおり。写真でよく見るあの湿原の様子。そういえば、川をカヌーが下っているのも見えたっけ。



そして、主人のために、かなり多くの方の手を借りました。本当に嬉しい一日。感謝感激の一日でした。

車椅子の生活をしていると、外出できる所はかなり制限されます。ホクホーや中央生協などのように、広い駐車場やエレベーターがあること、通路などに階段がないことなどを事前に知っておかなければ大変です。

それにもう一つ。車椅子の障害者が介護人と一緒に汽車に乗る時は、障害者も介護人も大人料金の半額になります。

でも今回は、私の分を先に申し込んでいたので団体扱いとなりました。そのため、主人の分は単独行動となり百キロメートル以内だから半額にはなりませんでした。

そういうことも分かり大変勉強になりました。障害者だからといって、家の中に引っ込んでばかりいないで、体調が許す限り思い切って外出することが大切だと思いました。

温根湯への一泊旅行

久島 梨恵子
(久島先生のお嬢さんです)

十一月十六日二時半、みんなバスに乗りこみ温根湯に向かって出発しました。

お天気が良く、バスのなかではゲームをしたり、ジュースを飲んだり、おやつを食べながら三時間半で目的地の大江本家に着きました。

ホテルに入ってから夕食まで一時間近くあったので、ママたちとお風呂に入りました。広いお風呂のなかで、悪いことだと思いついた泳いでしまいました。

上る前にサウナに入ったけど、あまりの暑さに息が苦しくなってすぐ出てしまいました。部屋に帰って頭がボーッとしているときに、金井さんがきて「七時からご飯です。」と声がかかりました。

夕食を食べている途中にゲームをやりました。座布団相撲と新聞紙を使ったゲームでした。新聞を使ったゲームは、百八十センチに切るゲームでした。一度部屋に帰ってから私は、裕美ちゃんとホテルのゲームセンターに行きました。ゲームセンターには、みつよし君とかさいさんの兄弟もいて、みんなでゲームをして遊んでいました。

時間のたつのも忘れて、寝る前にまたお風呂に入りました。寝たのは午前一時近くになってしまいました。

次の日十七日は、バスはホテルを十時に出て鉦路に向かいました。阿寒に近づくとも雨になったので、お弁当はバスの中で食べました。バスの中では、疲れて寝ている人がおおかったです。

私は池本さんに、「ねちゃダメだよ。」と言っておきながら自分が寝てしまいました。とても楽しい一泊旅行でした。



「思うままに」

林田クリニック（腎移植者）

工藤 信博

皆さん、ご機嫌いかがですか。季節は冬、寒い毎日が続きますが、気持ちまでも寒々とならないように何か良い工夫をしていますか。体調が良いときは、好きなことに没頭できて何にでも興味がわき、穏やかな気持ちで過ごせるでしょうが、寒い冬は何かと身も心もちぢこまりがちになり、苦手な季節ですね。

先日、編集委員の今井さんから「近況でもかまわないから何か書いてみませんか。」とのお話がありましたので、約二年ぶりに思うままに書かせてもらいます。

早いもので、私は現在移植後約四年六ヶ月を経過し、ごく普通の生活ができる健康の有り難さを日々噛みしめています。

術後のトラブルも一通り(?) 経験し、

日常での健康管理のコツといったものを最近になってやっとつかんだつもりでいます。そのコツといっても大したことはなく、無理をせず(仕事を含めて欲張りすぎると無理をしがちになりますね。物欲からなんとか逃れられないかな)、あまり苦勞せず(少し贅沢でしょうか。悪魔を恐れず怠けられるときには大いに怠けよう)、更には規則的な毎日を送るといった人間として基礎的な生活習慣を身につけることでした。

身体に余り負担をかけない毎日を送ることとは、一人ではいくら頑張っても出来ず、職場の人をはじめ周りの人にご面倒をかけることが時々ありました。身体に障害があると何かと社会で生きにくくなりがちなです。その結果、特に身内の人や女房には頼りきって、重い負担をかけることがしばしばです。幸いに、私の女房は移植医療に数年携わってきたためか、今の健康状態を少しでも長く続けるにはこのような生活が必要

す。移植後、大きな出来事といえば、一生出来ないと思っていた結婚を四十才になってからしたことです。まずは、いっとうなるかわからない私のところへきてくれた女房に感謝。

なことを良く理解してくれるので何よりです。

一人では心細かった生活が、安心して出来るようになり、そのためかここ一年以上大きなトラブルもなく安定した身体状況が続いています。一人よりは二人、二人よりは三人、人間って一人では生きていけないのですね。

最後に一言。



新しい免疫抑制剤の開発などにより移植医療は日々進歩して

いるのですが、移植がまだ特殊な医療と思われ、ドナー(腎臓提供者)とレシピエント(移植希望者)の双方で合意があっても中々実施出来ない現状のようで、歯がゆく思われる今日この頃です。

皆さん元氣にお過ごしください。

道東6地区

交流会報告

平成3年度6地区(釧路、帯広、北見、網走、根室、中湧別)交流会が十月二十六日、二十七日の二日間、阿寒湖畔ロイヤルホテルにおいて開催されました。釧路からは十六名の方がマイカーに乗り合わせて参加いたしました。全体の参加者は年々増加し、今年は九十名を越えていました。

午後6時から始まった夕食交流会には大広間があふれんばかりの人が集まった感じがしました。宴会では、ホテルの専属司会者が進行を受け持っていました。

ある程度アルコールが行きわたったころゲームが始まりました。

最初のゲームはジャンケンゲームでした。隣の人とジャンケンをして、勝った人が生き残っていくゲーム。釧路の人は全滅で一人も最後まで残れませんでした。その次に行われたビンゴゲームでも釧路勢は調子がでないで、景品を取ったのはOさん一人というありさまでした。

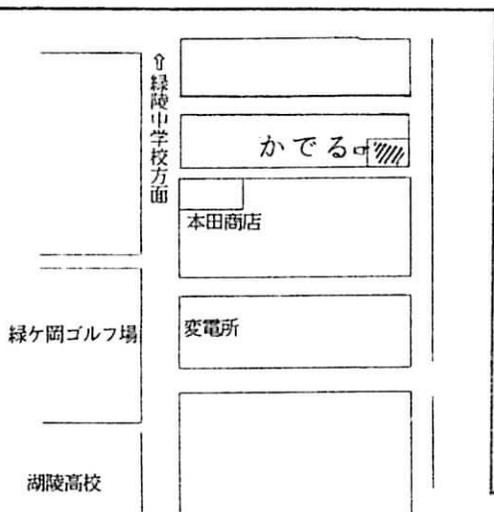
その代わり、カラオケコーナーでは三人の人が美声を披露し、おみやげをもらっていました。

宴会終了後、それぞれスナックに行く

者、ストリップを見に行ったもの?、温泉につかった者など楽しい一夜を過ごしたようです。

朝食時には、疲れたような顔をしていました。モーニングコーヒー、記念撮影、おみやげ物色など済ませ、来年網走での再開を約束して、9時過ぎに釧路めざして出発しました。

マリモ国道の帰り道には、生牛乳の美味しい店に寄り道をして暖かい生牛乳をおなか一杯に飲んでからかえってきました(本当はおっかなびっくりでした)。来年は網走地方腎友会が当番ですので、オホーツクが見渡せる場所に集うことになると思います。今年参加できなかった会員の皆さん、元気で過ごし、来年はぜひ参加してくださいね。



おいしい お店

今回紹介するお店は、

『喫茶かでる』です。平成三年九月一日に開店。店内は、カウンター、ボックスで十五人ほど座れます。奥には、二十人ほどのミーティングルームもあり、無料です。ただし、オーダーしてください。

ご主人、奥さんと二人でやりくりしており、店内は、ご主人が車椅子を使用するのでカウンターも低く、通路も広くとっており、ゆったりとしています。

また、コーヒー、パフェ類のほかにはカレー、ハンバーグなどもメニューに入っております。

営業時間 AM十一時～PM七時まで。
定休日、月曜日

住所 釧路市緑ケ岡六丁目二の二十
TEL 4610807



56 ビジネス

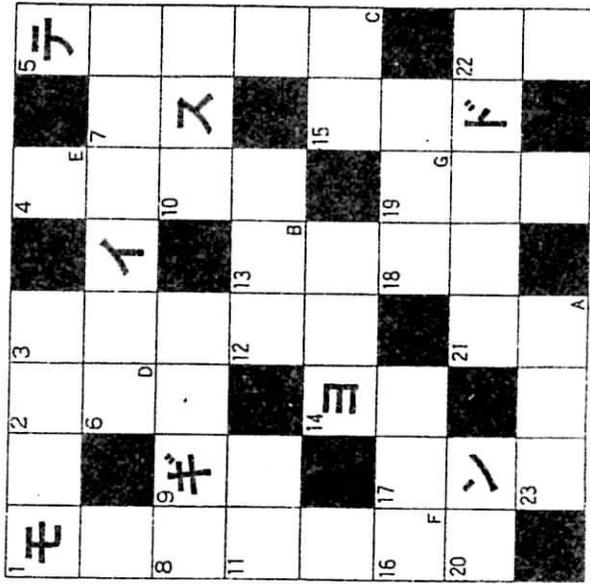
ワードクロス

謎の石

各マスにカタカナを一文字ずつ入れてください。最後にローマ字のあるマスの七文字をABC順になくして、答えの言葉がでます。

ヒント

週末をゆつたりして……。



ヨコのガキ

- ①苦心して組み立てて、まやりに飛ぼう。
- ②祭りのはなで、踊らなごころをやかに。
- ③こんなふきもあります。
- ④洗面用具の一つ。
- ⑤時刻表にリックを使った松本栗屋の代表作。

- ⑥あごがれの大臣の――。
- ⑦眞實は――の進行をつかさどる。
- ⑧注文紙、――つきです。
- ⑨言葉、――の明題です。
- ⑩蚊などの虫が侵入しないための戸です。
- ⑪中心となる人たち。
- ⑫親子の――シツプ。
- ⑬暑い日はどうもうつ。
- ⑭――は広いな、大きいな。

ヨコのガキ

- ①東北新幹線の現在のところの終着駅。
- ②車を入れてちよつとお食事、休憩にどうぞ。
- ③この田の自給はロンドン。
- ④――・スタート。最後のふんばりです。
- ⑤ピッチャーが痛めやすい腕の部分。
- ⑥――とつたまねづか。
- ⑦「――よ今夜もありがたう」は石原裕次郎。
- ⑧おんじゆうやや大福の中味。
- ⑨坂原長良川のは有名、夏ガシズンです。
- ⑩ドロ公の仕事です。
- ⑪ゴールです。
- ⑫選手権や健闘法として人気のある武芸。
- ⑬「山のあなたの空速く」と歌ったのはカール・――。

◎下記の応募用紙、集書用紙、又は葉書に答えを
書き、下記の中から抽選で、10名様に
正解者の中から抽選で、12月で
記念品を差し上げます。月で
◎正解・当選発表は1月10日北川セ
◎締切りは1月10日北川セ
◎宛先は、身体障害者福祉会
身障地方支部に提出して
剣路院の幹事さんへ
各病院で
です。

氏名 _____

病院名 _____

答え						
A						
B						
C						
D						
E						
F						
G						

- クロスワードパズル当選者
- 小島光幸 (市)
 - 坂本幸喜 (市)
 - 山部喜喜 (市)
 - 跡部喜喜 (市)
 - 対馬喜喜 (林)
 - 本間喜喜 (林)
 - 藤原喜喜 (林)
 - 横沢文彦 (鈿泌)
 - 渡辺文彦 (鈿泌)
 - 佐藤美香 (深和江)
 - 募者多数 (別院)
- 応募者決定

10月号のクロスワードクイズの答え
【ハッポウビジネス】
でした。

【会員の動向】

【新患者】

佐藤 テツ

釧路市

芳賀 輝美子

釧路市

笹子 重道

釧路市

福井 登

釧路市

工藤 紀正三

釧路市

和賀 芳彦

釧路町

中川 篤

厚岸郡厚岸町

河合日出男

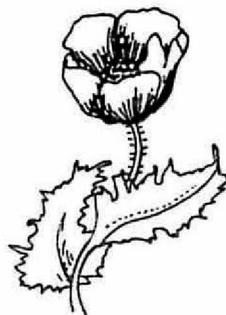
釧路市

羽田 テル

釧路市

平澤 誠治

厚岸町床潭



【新会員】

高野 アキ (厚岸) 平成3年5月から
木島 恒子 (日赤) 平成3年10月から
菅原 安信 (市立) 平成3年11月から
松元 政雄 (市立) 平成3年11月から
羽田 テル (市立) 平成3年11月から
河合日出男 (市立) 平成3年11月から
福井 登 (市立) 平成3年12月から
高橋 亮三 (市立) 平成3年12月から
笹子 茂道 (市立) 平成3年12月から
土井 勇 (鉏泌) 平成3年11月から
村山 通康 (鉏泌) 平成3年12月から

【変更事項】

伊畑 法恵 (市立) 9月9日移植
岡野マサエ (市立) 9月9日透析不要になる

【転院】

村山 通康 (鉏泌) 日赤から
鈴木マツエ (鉏泌) 市立から
東谷 芳子 (鉏泌) 市立から

【おくやみ】

青木 信子 (市立) 11月8日
西村 堅 (鉏泌) 11月30日 (非会員)

【訂正とお詫び】

10月号おくやみの中で、寺田勇志さんの(志)がぬけていました。
訂正してお詫びいたします。

【新患者】

室山 一郎

鉏路市

原 喜久雄

鉏路市

松元 政雄

斜里郡小清水町

村山 通康

鉏路市

鈴木 マツエ

鉏路市

東谷 芳子

鉏路市新鉏路町



HSK・たんろう

昭和四十八年二月十二日 第二種郵便物認可 HSK区通番 三十一号
平成三年十一月十日発行 二月に一回 二部局
発行・北海道身体障害者団体協会の発行 編集・関係団体等